



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 横浜冷凍株式会社
 コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 松原 弘幸
 (氏名) 吉田 豊

TEL 045-210-0011

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	28,313	△10.6	1,202	4.0	1,407	5.6	831	8.8
2020年9月期第1四半期	31,667	△15.5	1,156	△5.0	1,333	△1.9	764	△15.9

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 1,388百万円 (31.4%) 2020年9月期第1四半期 1,056百万円 (89.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	14.14	—
2020年9月期第1四半期	13.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	181,848		80,685	43.1	1,333.93			
2020年9月期	179,935		79,975	43.2	1,321.34			

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 78,395百万円 2020年9月期 77,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,000	△7.5	1,800	△6.0	1,700	△22.4	1,100	△14.3	18.73
通期	111,000	△3.5	3,900	14.3	3,800	2.7	2,400	2.5	40.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	59,266,684 株	2020年9月期	59,266,684 株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	496,181 株	2020年9月期	496,150 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	58,770,519 株	2020年9月期1Q	58,610,518 株

当第1四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式222,500株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競争、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響から厳しい状況が続いています。海外においても、長引く米中対立に加え、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、主要都市でのロックダウンや外出禁止令が再び発令されるなど、世界的に甚大な影響が発生しています。

当社が関わる食品業界では、特に飲食業において新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、GO TO キャンペーン事業の停止等により依然として厳しい状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは2030年に向けた長期的方針「ヨコレイ事業ビジョン2030」および「サステナビリティビジョン2030」を策定しました。「ヨコレイ事業ビジョン2030」では冷蔵倉庫事業、食品販売事業の10年後の「ありたい姿」を定め、冷蔵倉庫事業は「伝統と革新を融合したスマートコールドサービスをお約束します」、食品販売事業は「お客様とともに食の独自価値を実現し、生産者に寄り添い守り、世界の食卓を豊かにします」とし、実現に向けたファーストステップとして、2023年を最終年度とする新・中期経営計画(第I期)「創る力」を策定しました。冷蔵倉庫事業は「事業モデルの創造」、食品販売事業は「新たな食の価値の創出」を方針とし、最終年度(2023年9月期)に「連結売上高1,310億円」「連結営業利益60億円」「EBITDA120億円」の定量目標を達成すべく、各重点戦略に取り組んでおります。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高28,313百万円(前期比10.6%減)、営業利益1,202百万円(前期比4.0%増)、経常利益1,407百万円(前期比5.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益831百万円(前期比8.8%増)となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間は減収減益となりました。コロナ禍による荷動きの停滞から、一時的な在庫過多に陥った荷主が畜産品を中心に在庫の削減を優先したため、入庫量・在庫量が減少し、荷役料・保管料収入が微減となったほか、タイの連結子会社THAI YOKOREI CO.,LTD.も、タイ国外向け畜産品の生産調整が行われ、入庫量・在庫量が減少し減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高7,321百万円(前期比1.8%減)、営業利益1,818百万円(前期比6.8%減)となりました。

(食品販売事業)

当第1四半期連結累計期間は減収増益となりました。

前期に行った連結子会社の吸収合併以降、在庫管理を徹底し利益重視の販売を行ったことで、水産品・畜産品・農産品は減収ながら増益となりました。

ノルウェー養殖事業はシーライス(寄生虫)対策のための生産調整による水揚げ量の減少に加え、コロナ禍により商品単価が下がったため、減収減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高20,980百万円(前期比13.3%減)、営業利益188百万円(前期は84百万円の損失計上)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,913百万円増加し、181,848百万円となりました。これは主に、商品が1,761百万円、受取手形及び売掛金が1,527百万円増加したこと、貸付金が619百万円、現金及び預金が466百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ1,203百万円増加し、101,163百万円となりました。これは主に、借入金が1,557百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ710百万円増加し、80,685百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ466百万円減少の3,655百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,644百万円の資金の増加(前年同四半期は2,847百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,407百万円、減価償却費1,555百万円、仕入債務の増加額1,749百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額1,525百万円、たな卸資産の増加額1,720百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,014百万円の資金の減少(前年同四半期は4,418百万円の資金の減少)となり、その主な内容は貸付金の回収による収入1,388百万円による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出3,368百万円と、貸付けによる支出1,018百万円等の資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、901百万円の資金の増加(前年同四半期は1,976百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額1,650百万円による資金の増加と、配当金の支払額680百万円等の資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、「2020年9月期 決算短信」(2020年11月13日付)で公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,131	3,665
受取手形及び売掛金	14,527	16,054
商品	12,215	13,977
前渡金	267	171
短期貸付金	20,684	19,932
その他	785	588
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	52,594	54,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,764	50,740
機械装置及び運搬具(純額)	8,192	7,957
土地	29,946	29,960
リース資産(純額)	1,460	1,422
建設仮勘定	4,176	4,807
その他(純額)	1,163	1,104
有形固定資産合計	96,704	95,993
無形固定資産		
のれん	4,871	4,780
海外養殖事業ライセンス	5,993	6,041
その他	2,175	2,163
無形固定資産合計	13,040	12,985
投資その他の資産		
投資有価証券	13,615	14,342
長期貸付金	3,590	3,723
繰延税金資産	0	—
その他	811	818
貸倒引当金	△421	△387
投資その他の資産合計	17,595	18,497
固定資産合計	127,340	127,475
資産合計	179,935	181,848

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,983	5,738
短期借入金	16,478	20,209
1年内返済予定の長期借入金	5,969	4,623
リース債務	274	260
未払法人税等	483	485
賞与引当金	754	149
役員賞与引当金	18	6
その他	6,435	4,712
流動負債合計	34,398	36,185
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	39,898	39,071
リース債務	860	835
繰延税金負債	3,003	3,465
役員報酬BIP信託引当金	143	143
退職給付に係る負債	904	799
資産除去債務	91	91
その他	658	569
固定負債合計	65,561	64,977
負債合計	99,960	101,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,387	14,387
利益剰余金	46,941	47,093
自己株式	△382	△382
株主資本合計	75,248	75,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,334	4,833
繰延ヘッジ損益	△20	△10
為替換算調整勘定	△1,824	△1,837
退職給付に係る調整累計額	△82	7
その他の包括利益累計額合計	2,406	2,994
非支配株主持分	2,319	2,289
純資産合計	79,975	80,685
負債純資産合計	179,935	181,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	31,667	28,313
売上原価	27,886	24,405
売上総利益	3,781	3,908
販売費及び一般管理費	2,624	2,706
営業利益	1,156	1,202
営業外収益		
受取利息	264	158
受取配当金	44	40
保険配当金	31	31
仕入割引	57	—
その他	86	229
営業外収益合計	484	460
営業外費用		
支払利息	164	136
為替差損	14	100
その他	128	17
営業外費用合計	308	254
経常利益	1,333	1,407
税金等調整前四半期純利益	1,333	1,407
法人税、住民税及び事業税	304	384
法人税等調整額	189	174
法人税等合計	493	559
四半期純利益	839	848
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	764	831

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	839	848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,365	499
繰延ヘッジ損益	△38	10
為替換算調整勘定	△1,188	△60
退職給付に係る調整額	79	90
その他の包括利益合計	217	540
四半期包括利益	1,056	1,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002	1,418
非支配株主に係る四半期包括利益	54	△30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,333	1,407
減価償却費	1,389	1,555
のれん償却額	139	123
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△598	△605
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△34
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13	△11
受取利息及び受取配当金	△308	△199
支払利息	164	136
デリバティブ評価損益 (△は益)	47	△65
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,545	△1,525
たな卸資産の増減額 (△は増加)	414	△1,720
前渡金の増減額 (△は増加)	774	132
仕入債務の増減額 (△は減少)	993	1,749
未払費用の増減額 (△は減少)	383	82
その他	282	883
小計	3,424	1,897
利息及び配当金の受取額	307	226
利息の支払額	△110	△52
法人税等の支払額	△774	△427
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,847	1,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,837	△3,368
有形固定資産の売却による収入	0	10
無形固定資産の取得による支出	△14	△13
投資有価証券の取得による支出	△101	△2
貸付けによる支出	△1,938	△1,018
貸付金の回収による収入	481	1,388
その他	△7	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,418	△3,014
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,522	3,803
長期借入金の返済による支出	△805	△2,153
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△679	△680
その他	△60	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,976	901
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	326	△466
現金及び現金同等物の期首残高	3,377	4,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,703	3,655

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,452	24,201	14	31,667	—	31,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	343	—	7	351	△351	—
計	7,795	24,201	21	32,019	△351	31,667
セグメント利益又は損失 (△)	1,951	△84	12	1,879	△722	1,156

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△722百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,321	20,980	12	28,313	—	28,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	399	—	13	413	△413	—
計	7,721	20,980	25	28,727	△413	28,313
セグメント利益又は損失 (△)	1,818	188	15	2,022	△820	1,202

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△820百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。